

◆ 2 年 1 組石川桜佳 さんからの 羽ばたけ! 未来の国際人 留学レポート (In State of Texas)

こんにちは。アメリカのテキサス州に約 1 年間留学している石川桜佳です。私は 11 年生という日本でいう高校 2 年生として過ごしています。私がテキサスにきて早 5 ヶ月が経ちました。5 ヶ月間で私が経験したこと、感じたこと、また残りの留学生生活をどのように過ごしていこうかを書こうと思います。

私はランパサスという町に滞在しています。ここは都会ではないですが、必要な施設は近くにあり、動物もたくさんいて自然が豊かなとても過ごしやすい町です。

ホストファミリーはホストマザーとホストファザーと犬 4 匹です。彼らの子供は全員成人していますが、私たちから会いに行ったり、子供達が私たちの家に遊びに来てくれます。ホストファミリーはとてもいい人でテンションも高く、私を家族に受け入れてくれたことにとても感謝しています。

彼らはとても旅行が好きで 5 ヶ月間で私をいろいろなところに連れて行ってくれました。私達はこの 5 ヶ月で 7 つの州に旅行に行きました。特にアラバマ州ではホストマザーの孫たちに会って、私が日本から持ってきたポケモンのお菓子や折り紙で遊び、楽しい思い出ができました。

私の学校はランパサス高校といって 1000 人ほどの学生が通っています。私達は 9 校時まで授業があり、すべての授業を自分で選択することができます。ひとつの授業は 45 分授業で 15:30 に帰ることができます。学校のスケジュールに慣れるまでは 1 ヶ月ほどかかりました。私が 1 番好きな授業は家庭科です。友達と協力してピザやクッキー、フレンチフライなどを作ったりしました。また私は key Club という部活に入っています。この部活ではバレーやバスケのあとのコートの清掃や、学校の季節にあった飾り付けなど、ボランティアの部活です。この部活には 100 人以上が所属しており、友達もできました。

私はこの 5 ヶ月間で人の優しさをたくさん感じました。最初の頃は、学校で珍しいアジア人だったので、クラスの人にジロジロ見られたりしました。また特に辛かったのは、男子グループにジャパニーズ! といわれて後ろから指を刺されたことです。でもその時助けてくれたのはホストファミリー、ここでの友達でした。私が泣きながら家に帰った時にホストマザーは私に大量のアイスクリーム、お寿司を買ってくれました。食べ物で全て解決するよ! と言ってくれ、ホストマザーとホストファザーが私の話を全て聞いてくれました。ホストマザーは学校の校長先生にも連絡もしてくれて、それからそのようなことは無くなりました。また少し経ってからそのことを友達に話すと、その子達は私以上に怒ってくれて、次そんなことあったら言って! 私達が殴るから! 私はレスリングやってるから余裕だよ! などってくれました。日本人とは少し違ったアメリカ人の優しさを感じて、とても嬉しく感動しました。

私はこの 5 ヶ月間で、たくさんの友達ができ、たくさんのところに遊びに行って、たくさんの人たちに支えられながら充実した留学生生活をおくることができました。学習面でも、成績は全て A を取ることができました。今学期でも頑張りたいと思います。

残りの留学生生活では私の課題の一つでもある、英語の発音を改善していきたいです。また留学後に TOEFL を受ける予定なのでその勉強も並行して進めていきたいです。帰国までの残りの留学生生活を全力で取り組み、日本で支えていただいた方々に、成長した姿を見せられるよう努力していきます。



バジャマデー



友達とご飯を食べた日



海賊の劇をみた日